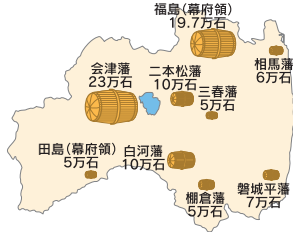


第5章 福島県のうつりかわり

1 福島県の歴史



江戸時代前期（1670年）
※ 5万石以上の領域



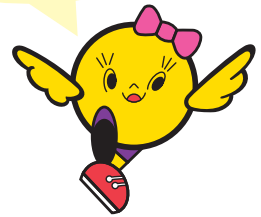
明治時代初期



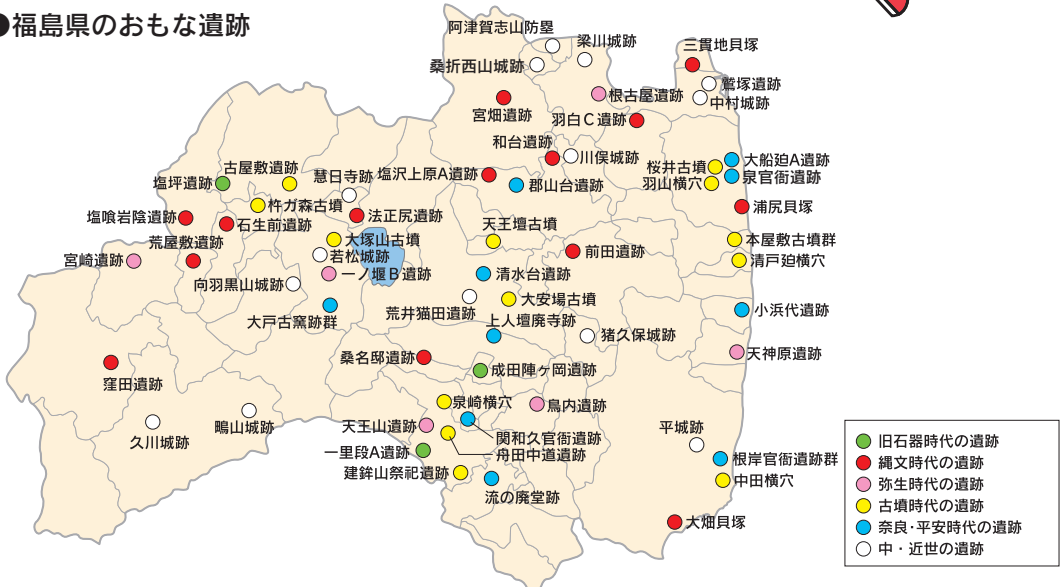
現在

明治9年8月21日に、旧福島県・
いわさき 磐前県・若松県の三県が合併し、
ほぼ現在の福島県の姿ができました。

だから福島県民の日は
8月21日なんだね



●福島県のおもな遺跡



はっくつ いせき じょうもん
発掘された遺跡などから、福島県には縄文時代のずっと前から
人々が住み始めたことが分かっています。



国宝 しょうじょうじもくぞうやくしによらいおびりょうきようじぞう 勝常寺木造薬師如来及両脇侍像 (湯川村)



国宝 しらみずあみだどう 白水阿弥陀堂 (いわき市)

県内には、国宝や国の重要文化財など昔の人々によって生み出された文化的な遺産いさんがあちこちにあります。



史跡 桜井古墳 (南相馬市)



ほうしょうしり 法正尻遺跡 (磐梯町)



県立博物館 (会津若松市)

会津若松市にある県立博物館と白河市にある県文化財センター白河館(まほろん)には、昔使われていた道具などがたくさん展示されていて、原始時代から現代までの福島県の歴史を楽しく学ぶことができます。